詩歌念 也仍无平一月

若歌公

詩歌合道保元年二月立八日 山中花文

好鳥林深凌電和吊進路情屬春行 二番 いかかてののであるようしてんちもりとるか 小多色歌与然之为各人教母人 右中午藤原範時級后 橋摩守藤原乾星朝后

ようのでをきましてからいいうこれのか 横在中部平局高級

松溪流院斜场到杨藏風苦放事多

おからなる一十十十五日

五卷一一艺像大木二八十八日 三番 南ようるうなくちきてあるころちょうける多 权杨属聽青寂寞寧意死滿白参差 知きのれのおきるとあるとうろうれかった 煙處林遠夢客掛心字蹊浮春日全 た持十 福存守守蘇為終老朝在 七年年華感感於母祖古 權在中分平经高加上 朝解的没发平了言

さる 一日遊春席帶川雙雲為電光版於 九名 或那權大輔為安鄉 ましてもあるのできてこれると te 領成為公然八十之於而至山井二重 權大例公身平所

煙霞洞事孫人店錦鴻海西居士島 きるをでいるとうそうろいろのかなのかろう た持上大事香味資富那

秦數共 清 推客路 航 在 放 病 後偷引 他之人 特上人名的《後田在王公 山郭風煙多下柳溪门桃季少從松 九省 格うまのからいろんのってでとみののさ 八着 けるちしといわいとうな物を他のみれのたの名の たお中春議範朝那 侍後定家御

晴風拂 尚零春露斜回映林照晚霞 みずのであるおしまるまというないると なる一大大多大多 土一番 うつきやき方はあるかけてあるころう 十書司雪弱柳大學遊外奏山坐為湯 領極遠遊随嵐馥野杏浅深柔妈分 在一人徒三位多衡那 たなな 從三個賴範那

さいさいたのかであるとうちものの歌 与島婦林期晓月為充情名入春雲 みーのでくるまとうりんないろう 霞中间雪訪松户虚外爱山坐石被 十三者 也書處此近随親獨於查據職束結分 書からのないかりまれているという 在女房 のないころにはまるけておろう たなける後の後

十四番 十五卷 少るころれのあるないとうころであるれのうし 溪竹夕屬蔵霧宿嶺林春川出花昇 たお中左外午藤系高宣 たおしてい対域を

重色端 溪場析右川之街嶺山花運

十六多

とうけつきおいろくううたいとりまれるのとうと

女高

た様

春山霧白萬萬轉青潭霞红松楊遺

ゆきのありまれる格人とのめけるそのです ナ七番

た た地份遊藤原教實

あるとた 句かられのうときていていようとのれのかられ 唯追看的應下看從軍西日欲何之 た出门でか耐味系為之

+のたいころうとうというというというできるののか 十八五

樵夫哥延乃花夕至女夢方行而時 京本中後南陸風表演,中陸南

るつきとうてきねのれ白ろかさるのかん

十九菱

た路中文大進旅祭都後

蓝溪殿暖雪女好似回腹鶴睡雨

た地が心臓を高か

いかしてなりくまそんかとことからかるのう

二十卷

た活

与月极朝白冠山海流一起右毛

た様

ゆきのありまれる格人とのめけられのです 春山霧白萬萬轉青潭霞红松獨遺

ナ七番 た地份监藤原教實

唯逐春山應下 看從 軍西日欲何之 た出一後か耐味系在之

十八五 句くろれのうときていていようとのれのかられ

手のたいころうくなったいとうできるののの

推支哥处仍花夕至女英方行而時 言本、中後南極風を変わを再

るつきとってこれのれ白ろからきみのみん 十九五数

た路中文大進旅水系を

蓝溪殿暖雪女好似回腹鶴睡雨

いかってないくろうとかってきのう た地が心臓を高か

二十岁

与月相朝白紀山為紀一名名多

古一家 よりののなるやねとかりたまりでの人ものと 方は本列后風山造死一起物を

方二番 う物のんてくえるのんではて格ともろうない 号花獲 为漸路地月伴隐倫獨沒春 たとひらるる。ま時 九持下 海都海藤原和長

惟去在数心心心父至女与又多方行而時 玄石川中錐廣數風不污小僅傳白 た が文化のながある。大いとの

薩的東羅路 的村人一風北送一溪光 うそれぞれというきつきりからしまいと か三番 た腸 九多米核女尉 原羅長 在此後少时在京岛之

古のあったりっとうまないかってるれかさ

えるれやあるけいのかするいやろはろうちれるると 春學治派公同該少拜莲夢因家後 1版年法略全紀之

一番野的好色 きけっちったつきるようなの格れるなととき 雨素物色暴含露夜夜地狼碎和春 衣路送達新月影婚衣惟被暖風息 けるる すべる 格をあれりない多かてもよっちけ他のする 九榜 勒解山发平標基 在我一位少时在外面不多之 丹後守藤原紀京

二番 山西露海斜陽透林下歲鳴為緊顿 たお、範朝那 はちょうつしてあるいしたるないあるさいれの 神くを九分けのあのけりあってきゅういれの 松盖面時應宿客盖遇犯風震心松人 たお上後賣那 でたが、日本石井 密秋 尾点 是西南南 女房

村をはむめずらのはかいてのうるであのとの 殿夢夜都日露面軒樂秋尾為多边 山田たお上のは、北下原地である 年軽枯指記多少る動原上編徒多 定部那

立着 かるるれはいちろいぬうのはしをらのる

白餐戲光秋澤雪红摘半出茶山宝 たるるをか

一友情 一个東年那一大 六番年不及意見記 むっつのできあっけいちしけっちいくるそと 板絕例

風生材都多英為月遊野权帶學家 なるころのあるないからいちのからいろん

寒水澤長蓋两岸北紀徑細草千程 在店 通方朝后

あるれてもいましたあのはいとものはれ 人養等長意因而深然殖性細草千程

侵害連野を治成爽顿與林睡底勢 としてなっている

九番 まゆのやかなったりなてまる~~いい

た · 類範部

秋露草深廣鹿苑夕陽烟烟隐倫樓 たるのの動物がある

むさーのでするのまけずてうるさかりれれるも 私の名を

大大大 十岁 村山縣外南衛老三教臣林

川は山面をこれに動わる際を馬は

うゆかやちかるまいまりころではんろの 十一支

たおす 範時明行

寒野魔殿穿露鬼黄色過降本芸科 乾基朝旨

るかできるのできれているあるであるちょうからう 十二者

格松面尾群 将色藏落海激芳而弃死 能感松柳氏

かあうけのあいきょう 我ののなって · 新州大

十三春

た村家室

完後機到林園を野る書前,錦像秋 女房

十四看 かきろの一人もの他のあしあしいるときちのかって たんな

玄杨教科村小路下新愛を致西楼 花水食视明尽人情不好起去京客面遊梅

まってきててるりままでまともはりかや 十五卷

林夢與柔城坊僻楼差對石野田田 た。経高加大 京太弘成八京宣司信江州一村

十二五五 むすっのからい方いなるないとうさのかろ

いった。あんとうというできるころと

党南海杨奉黑月红多点高西德山

京本大門門東西川 日本ある場合西徳山 わかったるわれってきいまちとめてあるからて 十七番

たお上る隆

菊養流酸风干的本等指红和一村

タされいきののはいおりますれてるい 本本本の着本を

たなな 十八番

至一大人科 村心路八年命之之死 西梅 枯寡親明琴倚石野遊素這面盈樽

をたすうのもけるまで、くよしけれるあのえ 十九省

友知长

院弟易掩三间寺旁都初看万項田

才卷 るのでのおかれるないうきろうとかれ 藤島時

这材状仍不已迎寒~艺山春月 流懸 係後此

村をはつものうとしていれてくろうろうれん

色枯少成红乳溪平盖面色新路色 古一番 ありつりまとけつしまできれいりのよ たお不読家先 溶维花 かってのとうとと

廿二番 八松山北西山西山西山西山西南 たな

那楊吃為蓮為呼原上北凡舊年楊

は三者むるるでうちょうとろうできかり

秋玄婦個年舉都白霧衛涯遠水深 た梦 落教實 旅鹿充

見るするかられのなみてきちりるうかろのと けに変数

野外後出影後去村都沙海久陽林 序える。特人政副更以月明程

三元人 つかっきのへんうかれれるからいろうでき 古土酱

またいのをのっていのまのとうなのほれつもう 三老孩依然生然一月成色和高多 古二番 乾多彩花

帰遊遠路 考棒 色败 萬更 即月明程 友猪 門大流流影院を対力巡路外水の南北

夕日本日かってかったかるころ 教言婦同年奉教母者屬随邊院院 張念艺 なちのう気

恭教者

方三元のお



